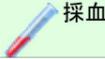


ステップ名称		1日目 前日	2日目 当日		3日目 術後1日目
		1日目	2日目		3日目
			術前	術後	
合併症	自覚症状		血尿の増強がない		血尿の増強がない
	客観的観察		苦痛・創部痛のコントロールができる		苦痛・創部痛のコントロールができる
生活動作	活動		創部の発赤・腫脹がない		創部の発赤・腫脹がない
	排便・排尿		指示された安静が守られている ADLの拡大に努める		ADLの拡大に努める
知識・理解	術後		尿道カテーテルの違和感が自制内である		尿道カテーテルの違和感が自制内である
	退院時				膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している
	検査前日	手術の準備ができる			合併症なく過ごすことができる
	検査後		異常の早期発見と対処ができる		異常の早期発見と対処ができる
観察項目	睡眠		血尿（血尿スケール）		血尿（血尿スケール）
	尿失禁		睡眠		睡眠
	排尿障害		排尿障害		排尿障害
			疼痛		疼痛
			嘔気		嘔気
検査結果		出血（創部）		出血（創部）	
検査	血液検査			採血 術後	採血 術後1日目
	放射線			OPE室で術後胸腹部ポータブルXP	 レントゲン胸腹部（レントゲン室へ行く）
	生理検査				
	血管造影				
処方					
処置	看護	 入院時臍処置をお願いします。（剃毛は不要）	 搬入時はオムツ装着		 尿・ドレーンは6時で締めて熱型表とカルテに色と性状を記入してください。ドレーン排液・尿破棄。
	透析		 迎いのベッドにはLのオムツを乗せてきてください。		
注射			 OPE前ソリアセットF500を1本80ml/HでルートキープしセファゾリンNa 1g+NS2ポート100mlをOPE室持ち込み。	 OPE後ソリアセットF500+カルバゾクロムスルホン酸Na静注100mg20mLを80ml/H、ソリタ-T3号G輸液 500mL80ml/H、ソリアセットF500ml/Hで投与。 アセリオ1000mg×3（術後最終使用時間から6時間空けて使用してください。痛みの予防投与のため痛みの有無にかかわらず使用してください。）	 YDソリタ-T3号G輸液 500mL+カルバゾクロムスルホン酸Na静注100mg20mLを40ml/H、ソリタ-T3号G輸液 500mL40ml/Hで投与。 アセリオ1000mg×4（術後最終使用時間から6時間空けて使用してください。痛みの予防投与のため痛みの有無にかかわらず使用してください。）
食事		 夕食は食べて良い。	 禁飲食。	 禁飲食。 水分摂取は翌朝から。内服は翌日から再開が確認。	 昼から食事再開。
安静度		フリー		ギャッチアップは痛みに応じ45度まで可。	9:00 ~安静度フリー。歩行不安定時は看護師付きそいで。リハビリ評価後からでも可能。
清潔		シャワー浴可			
指導	医師				
	看護			術後は坐薬・浣腸・排便も含めて、直腸操作は禁忌。 内服で便秘が解消しない場合は主治医に相談。 またBaを固定したり、DIBキャップついたりしないこと。	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌
	栄養指導			血尿あっても基本的には止血剤は不要。 スケール4以上で報告してください。	
	服薬指導	 内服全て続行。 当日の内服も続行だが抗血栓薬・糖尿病薬は確認してください。 糖尿病の方は血糖測定するのかインスリンをスライディングで投与するのか確認してください。  入院時センノシド2T内服	 排便ないときはグリセリン浣腸施行（6:00）		 内服再開
看護問題					
観察項目		 血尿 残尿感 排尿時痛	 血尿 残尿感 排尿時痛	 血尿 残尿感 排尿時痛	 血尿 残尿感 排尿時痛
			 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察
確認項目		手術同意書 麻酔同意書 DVT同意書 入院診療計画書 輸血同意書 輸血オーダーの確認	輸血（T&S）OPE中に投与する可能性あり		
リハビリ		 RH依頼。			
退院調整					
カルテ					

ステップ名称		1日目 前日	2日目 当日		3日目 術後1日目
		1日目	2日目		3日目
			術前	術後	
条件付き指示			疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa1錠	⇒ 疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa1錠	⇒ 疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa1錠
			不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	⇒ 不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	⇒ 不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール
			不眠時	⇒ 不眠時	⇒ 不眠時
			発熱時38.5℃以上の時	⇒ 発熱時38.5℃以上の時	⇒ 発熱時38.5℃以上の時
			嘔気	⇒ 嘔気	⇒ 嘔気
			血圧	⇒ 血圧	⇒ 血圧
			押水	⇒ 押水	⇒ 押水
			便秘時	⇒ 便秘時	⇒ 便秘時
			輸液	⇒ 輸液	⇒ 輸液

ステップ名称		4日目 術後2日目	5日目 術後3日目	6日目 術後4日目	7日目 術後5日目
		4日目	5日目	6日目	7日目
合併症	自覚症状	血尿の増強がない 苦痛・創部痛のコントロールができる	血尿の増強がない 苦痛・創部痛のコントロールができる	血尿の増強がない 苦痛・創部痛のコントロールができる	血尿の増強がない 苦痛・創部痛のコントロールができる
	客観的観察	創部の発赤・腫脹がない	創部の発赤・腫脹がない	創部の発赤・腫脹がない	創部の発赤・腫脹がない
生活動作	活動				
	排便・排尿	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している
知識・理解	術後	合併症なく過ごすことができる	合併症なく過ごすことができる	合併症なく過ごすことができる	合併症なく過ごすことができる
	退院時				退院後の留意点が理解できる
	検査前日				退院に対して不安がない
	検査後	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる
観察項目	血尿（血尿スケール）				
	睡眠				
	排尿障害				
	疼痛				
	嘔気				
	出血（創部）				
検査結果					
検査	血液検査				
	放射線				
	生理検査				
	血管造影				
処方	 セレコキシブ	 セレコキシブ	 セレコキシブ	 セレコキシブ	
	 カロナール	 カロナール	 カロナール	 カロナール	
	 酸化Mg毎食後。下痢あれば、適宜減量、中止可	 酸化Mg毎食後。下痢あれば、適宜減量、中止可	 酸化Mg毎食後。下痢あれば、適宜減量、中止可	 酸化Mg毎食後。下痢あれば、適宜減量、中止可	
処置	看護	 尿・ドレーンは6時で締めて熱型表とカルテに色と性状を記入してください。ドレーン排液・尿破棄。	 尿・ドレーンは6時で締めて熱型表とカルテに色と性状を記入してください。ドレーン排液・尿破棄。	 尿・ドレーンは6時で締めて熱型表とカルテに色と性状を記入してください。ドレーン排液・尿破棄。	 尿・ドレーンは6時で締めて熱型表とカルテに色と性状を記入してください。ドレーン排液・尿破棄。
	透析				
注射	 食事5割食べていれば点滴終了抜針可。* 食べてなければ主治医に確認をお願いします。				
食事					
安静度					
清潔	本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）	 本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）	 本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）	 本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）	
指導	医師				
	看護	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌
	栄養指導				
	服薬指導	 DM薬はOPE後二日目から再開。			
看護問題					
観察項目	 血尿 残尿感 排尿時痛	 血尿 残尿感 排尿時痛	 血尿 残尿感 排尿時痛	 血尿 残尿感 排尿時痛	
	 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	
確認項目					
リハビリ					
退院調整					
カルテ					

ステップ名称		4日目 術後2日目	5日目 術後3日目	6日目 術後4日目	7日目 術後5日目
		4日目	5日目	6日目	7日目
条件付き指示	疼痛時	①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠	①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠	①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠	①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠
	不穏時	①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール
	不眠時				
	発熱時38.5℃以上の時				
	嘔気				
	血圧				
	押水				
	便秘時				
	輸液				

ステップ名称		8日目 術後6日目	9日目 術後7日目	10日目 術後8日目	11日目 術後9日目
		8日目	9日目	10日目	11日目
合併症	自覚症状	血尿の増強がない 苦痛・創部痛のコントロールができる	血尿の増強がない 苦痛・創部痛のコントロールができる	血尿の増強がない 苦痛・創部痛のコントロールができる	
	客観的観察	創部の発赤・腫脹がない	創部の発赤・腫脹がない	創部の発赤・腫脹がない	
生活動作	活動				
	排便・排尿	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している 膀胱留置カテーテル抜去後排尿障害を起こさない	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している 失禁が少なくなり、排尿間隔を保つことができる	失禁が少なくなり、排尿間隔を保つことができる	
知識・理解	術後	合併症なく過ごすことができる	合併症なく過ごすことができる	合併症なく過ごすことができる	
	退院時	退院後の留意点が理解できる 退院に対して不安がない	退院後の留意点が理解できる 退院に対して不安がない	退院後の留意点が理解できる 退院に対して不安がない	
	検査前日				
	検査後	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる
観察項目	血尿（血尿スケール）				
	睡眠				
	排尿障害				
	疼痛				
	嘔気				
	出血（創部）				
検査結果					
検査	血液検査				
	放射線				
	生理検査				
	血管造影				
処方		➡ セレコキシブ	➡ セレコキシブ		
		➡ カロナール	➡ カロナール		
		➡ 酸化Mg毎食後。下痢あれば、適宜減量、中止可			
処置	看護	尿・ドレーンは6時で締めて熱型表とカルテに色と性状を記入してください。ドレーン排液・尿破棄。	尿・ドレーンは6時で締めて熱型表とカルテに色と性状を記入してください。ドレーン排液・尿破棄。		
	透析				
注射					
食事					
安静度					
清潔		➡ 本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）	➡ 本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）	➡ 本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）	➡ 本人希望あればシャワー浴可（ただしドレーンが無いことが条件）
指導	医師	尿カテ抜去予定。先生が抜きます。抜去後翌日もしくは、翌々日に退院予定。尿漏れの説明して下さい。	退院予定。	退院予定。	退院予定。
	看護	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌	術後は坐薬、浣腸は禁忌です。排便も含めて、直腸操作も禁忌
	栄養指導			次回診・退院処方確認	次回診・退院処方確認
	服薬指導				
看護問題					
観察項目		➡ 血尿 残尿感 排尿時痛	➡ 血尿 残尿感 排尿時痛	➡ 血尿 残尿感 排尿時痛	➡ 血尿 残尿感 排尿時痛
		➡ 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	➡ 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	➡ 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察	➡ 膀胱留置カテーテル挿入中 ドレーン排液性状 創部観察
確認項目					
リハビリ					
退院調整					
カルテ					

ステップ名称		8日目 術後6日目	9日目 術後7日目	10日目 術後8日目	11日目 術後9日目
		8日目	9日目	10日目	11日目
条件付き指示	疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠	疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠	疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠	疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠	疼痛時 ①ロピオン1A+生食100ml ②ソセゴン15mgアタP25mg+生食100mlを100ml/Hで投与 内服できるときロキソプロフェンNa錠
	不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール	不穏時 ①リスペリドン ②セレネース1A+NS100mlを30分かけて ③セレネース筋肉注射。 効果ないときDrコール
	不眠時	不眠時	不眠時	不眠時	不眠時
	発熱時38.5℃以上の時	発熱時38.5℃以上の時	発熱時38.5℃以上の時	発熱時38.5℃以上の時	発熱時38.5℃以上の時
	嘔気	嘔気	嘔気	嘔気	嘔気
	血圧	血圧	血圧	血圧	血圧
	押水	押水	押水	押水	押水
	便秘時	便秘時	便秘時	便秘時	便秘時
	輸液	輸液	輸液	輸液	輸液